



ゲストハウスを利用して、旅を彩ろう。

ここ数年、全国に増えつつある「ゲストハウス」。男女別のドミトリー(相部屋)に2段ベッドが並び、共有スペースにキッチンやバーが設置されていることが多いようです。料金は1泊3000円位から。旅先で、知らない者同士が一夜を過ごす。それもまた、旅の醍醐味ですね。

～ 新潟市内のゲストハウスを数件ご案内 ～

【ゲストハウス&バーくく】(中央区古町通3)

…かみふるまち商店街。築90年の古民家を改装、バーを併設。

【なり-nuttari NARI-】(中央区沼垂東2)

…沼垂テラス商店街の近く。ノスタルジックなたたずまい。


【ゲストハウスぐーぐー】(南区白根)

…白根商店街。飲み歩きも楽しそう。



ぐーぐーさんの室内。清潔で、くつろげそう。

「Eco列車でいこう！」～第160回～ 最強のローカル線、飯田線に行く。

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行や、心が豊かになるような旅行を紹介するコーナーです！) 

1月8日(日)。早朝の豊橋駅。「天竜峡」行き始発列車に乗り込んだ客は少ない。

これから乗る「飯田線」は鉄道ファンの間では有名な路線だ。全長197kmに94の駅がある。駅間隔が短く、少し走ってはすぐに停車する。そして、全線を走破するには6時間を要する。つまり「飯田線の全線に乗って、飽きなければ鉄道ファンとして一人前」ということになる。

2両編成の電車は「豊川」「新城」など愛知県三河地方の主要都市を過ぎて、少しずつ山間に入ってきた。主君に忠誠を誓った「鳥居強右衛門(すねえもん)」の名前を冠した「鳥居」、古戦場跡に近い「長篠城」「本長篠」と続く。歴史好きでなくても、興味深い地域だ。

いつの間にか静岡県に入った。小集落ごとに駅があり、乗客がいてもいなくても、電車は丹念に停まっていく。家のそばの小さな畑には、野菜とともに茶が植えられている。

「大嵐(おおぞれ)」という小駅に停車した。静岡県にある駅だが、駅前の橋を渡れば愛知県である。2005年の合併で消滅するまで、日本一人口の少ない市町村(離島をのぞく)であった「富山村」の最寄り駅だ。合併前の富山村の人口はわずか218人。両側に山が迫り、奥三河の谷は厳しい。

長野県に入ると、平地が開けて「天竜峡」に到着。散策してみたい街だが、すぐに発車する電車に乗り換え。学生や家族連れが増え始め、車内は賑やかだ。

沿線第一の街で人口10万人を有する「飯田」で再度の乗り換え。車窓左側から降り注ぐ日光を浴び、右側の窓には中央アルプス「空木(うつぎ)岳」「木曾駒ヶ岳」の雪景色が美しい。

車内はポカポカで、いい気分だ。「ビールを飲みたい。」なんて思うが、停車時間が短いので、買えるチャンスはないだろう。電車は伊那谷をのんびりと走って、諏訪湖へと向かっている。



天皇・皇后ご成婚で脚光を浴びた「小和田駅」 中央アルプスを望みながら、のんびりと。

【1月8日(日)】

豊橋	発	6:00
天竜峡	着	9:08
	発	9:14
飯田	着	9:40
	発	9:43
岡谷	着	11:58
	発	12:26
松本	着	12:54
	発	13:28
長野	着	14:45
	発	15:02
越後川口	着	18:01
	発	18:18
長岡	着	18:41
	発	18:43
新潟	着	19:58